



特定非営利活動法人 Arts Planet Plan from IGA

アトリエニュース

〒518-0205 三重県伊賀市伊勢路字青山1381-77 Tel (186-)0595-53-1077



[2007/3/10 発行 編集担当:八木直子]

本年度も、残すところあと少しとなりました。暖冬の影響でアトリエに雪が積もることも無く、薪割り作業が順調に進みました。これを喜んでよいのやら、地球温暖化を危惧してしまいます。お陰様を持ちまして、3月25日からの4日間の窯焚きで、本年度の活動が終わろうとしています。一年間、皆様のご支援、ご協力ありがとうございました。

さて、本年度最後のアトリエニュースでは、第4回実技講習会と、「粘土カフェ」の活動報告や2月に行われました「研修旅行」の報告をお届けします。

第4回実技講習会「陶芸 / ロクロに挑戦」

昨年12/9(土)、10(日)の2日間、講師に余部一郎さん(陶芸家・和泉市久保惣記念美術館市民創作教室講師)を迎えて、今年度の第4回実技講習会【陶芸/ロクロに挑戦】を行いました。参加された方々の中には、今まで陶芸未経験の方や電動ロクロ初挑戦の方もおられましたが、教室での講師経験が豊富な余部先生のご指導により、参加者全員、途中で脱落することなく、楽しい陶芸三昧の2日間を過ごすことが出来ました(夜は夜で、酔っ払って冗談を言う余部先生にも楽しませてもらいましたが…)。昼間はきちんと、繊細で巧みな手技を見せて頂き、かつ丁寧な個別指導によって、ロクロ成形から削りまで一通り行なうことが出来ました。その上、白い化粧土を使ったり、各自で刻印を彫ったりと、盛り沢山の充実した内容でした。

今回、ロクロの面白さ、そして陶芸の奥深さを、同時に教えて頂いた想いです。今春の穴窯焼成で、参加された方々の作品がどんな風に焼き上がるのか、今からとても楽しみです。そのときは、また、余部先生をお呼びしたいと思っています。参加者の皆さま、本当にお疲れ様でした。

(第4回実技講習会担当:石津 勝)



電動ろくろの講習風景



手回しろくろの講習風景



余部先生のデモンストレーション

「薪割り完了！」作品持ち込み及び窯たき参加者募集中！！

- ★ 赤松の入手が予定より遅れ、チェーンソーも使った追加の薪割りを12月17日、1月13・14日に実施しました。一般参加者、元気な芸大生ボランティアさん、粘土カフェ以外の一般会員も含め、多くの方々のご参加ご活躍のお陰で、今回の穴窯焼成に必要な赤松約4トンの準備ができました。ありがとうございました。
- ★ 2月11日(日)、12日(祝)粘土カフェ例会(作陶会)。
- ★ 2月12日(祝)粘土カフェのメンバーに加え、外儀先生にも協力して頂き、窯の補修をしました。同時に、窯周辺の溝の整備をし、焚き口の扉に滑車を取り付けました。
- ★ 今後の予定……3月11日(日)粘土カフェ例会(今年度最後の作陶会)と作品の持ち込み。
3月24日(土) 窯詰め(作品持ち込み10時まで厳守)終了後、あぶりを始め、28日(水)までの予定で四昼夜、窯焚きを行います。皆様のご参加を、お待ちしております。(陶芸自主活動グループ「粘土カフェ」代表:田上早百合)



教委の澤田さんご協力。チェーンソーでの切断



電動薪割り機を使って荒割り



学生ボランティアさんによる薪割り

アートアイランド直島研修旅行報告

まず、最初に報告とお詫びです。当初予定していた備前方面にはバス会社との連絡不備で立ち寄れませんでした。期待されていた皆様には大変ご迷惑をお掛け致しました。法人として、紙面をお借りし、お詫び申し上げます。

さて、今年度は2月17・18日に香川県の直島へ行きました。初めての試みで、貸切バスを使っての一泊二日を過ごしました。岡山県宇野港よりフェリーに乗り香川県直島へ渡り、まず地中美術館を見学。解説付きのプライベートツアーを楽しみました。宿泊はかわいいパオの並ぶ「つつじ荘」です。寒い季節に行った私達は和室でした。直島名物「ぼっしゃ鍋」を囲み、15名の楽しい晩餐会となりました。

二日目は、ベネッセハウスまで散策、海岸に点在するオブジェを鑑賞しながらの道のりは短く感じるものでした。また、館内は数多くの作品が至るところに展示されていました。次に旧家や神社そのものが作品化された「家プロジェクト」の見学をし、帰路につきました。

二日間、ユニークな作品との出会いがあり、参加者それぞれが何かを感じ、また考えて過ごされたのではないかと思います。

最後になりましたが、事故や怪我をすることもなく旅行が終了できましたのも、参加者の皆様のご協力があった結果と感謝いたします。
(研修旅行係：蒔田邦子)



つつじ荘の前で記念撮影



草間彌生さんのかぼちゃを囲んで



家プロジェクト/タレルさんの作品前にて

本年度も有難うございました。代表理事よりお礼のご挨拶

会員・一般参加者・学生ボランティアなどの皆様のご協力のお蔭で、「風と土のかたち」展を皮切りに始まった2006年度の活動は本当に充実したものになりました。誠に有り難うございました。

4回の実技講習会は様々な分野の専門家の方を講師として伊賀にお招きし、地域交流も含め、「新たな技能や知識」と「人との出会い」を得ることができました。これらの活動などから刺激を受け、伊賀・青山地域でクラフト・サークルが誕生する模様です。

また、昨年度、造形ワークショップで作った「穴窯」を活用する法人内陶芸自主活動グループ「粘土カフェ」も、新たな会員を含め、始動しています。3月末の2回目の薪窯焼成を目標に準備が着々と進んでいます。一方、広域合併の煽りを受け、残念ながら「Artist in Residence at IGA」は、2006年度の開催はできませんでした。新たな方策を模索しながら、次回開催を目指しています。そのためには、皆様のお知恵が必要です。よろしくご協力ご助力をお願い致します。

研修旅行は会員、過去のAIR参加作家、各種行事の講師・参加者やその友人など幅広い方々の交流と親睦の場となり、和気藹々の「直島」の旅を楽しみました。次年度の研修旅行先のご希望やお勧めがありましたら、是非ご紹介ください。

なお、本法人の活動が「教育美術1月号」で、美術教育を支えるグループ研究という特集の中で、他の5グループとともに紹介されました。内容は<http://park12.wakwak.com/~kyo-bi/>で検索できますので、興味をお持ちになられた方はご覧ください。

次年度も会員の皆様の積極的な参加とご協力を得ながら、法人活動を続けて参りたいと存じます。新たな提案や面白い企画、ご意見ご要望などが有りましたら、積極的に事務局までお寄せください。お待ちしております。また、運営にご協力頂ける事務局員も募集中です。こちらも、よろしく願います。
(代表理事 森田耕太郎)

お知らせ・会費納入のお願い・皆様のご意見お待ちしております

- 「Artist in Residence at IGA 2004」で制作された外嶋秀紹さんの作品が伊賀市役所青山支所の前庭に設置されました。お近くにお越しの際は是非、一度ご覧ください。
- 本法人会員で「Artist in Residence at IGA 2003」参加作家の大西康明さんが「第10回岡本太郎現代芸術賞(TARO賞)」展で「岡本太郎賞」を受賞されました。展覧会は4月8日(日)まで川崎市立岡本太郎美術館で開催中です。
- 継続会員の方の中でまだ入金されていない方は、恐縮ではございますが、2006年度の会費のご入金をお願いします。本年度の活動も、残りあと僅かとなって参りました。決算も近づいておりますので、ご協力をお願い致します。
郵便口座:00890-1-106346 NPO アーツ プラネット プラン フローム イガ
- 法人のホームページです。ご覧ください。あわせて掲載記事、ご意見、ご感想、ご質問などをお寄せください。
アドレス: <http://www.appfi.org> Eメール: contact@appfi.org